

地域整備方針

(大阪市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
新大阪駅周辺地域	〔都市再生緊急整備地域〕 国土において、スーパー・メガリージョンを形成するリニア中央新幹線をはじめ、北陸新幹線、大阪都市再生環状道路などの高速交通ネットワークの形成が進む中、新幹線や広域幹線道路などの国土軸と、世界につながる関西国際空港から大阪の都心を通る都市軸が交わり、関西の各拠点を結ぶ広域交通の結節点である新大阪駅を中心に、近接する十三駅エリア及び淡路駅エリアと一体となって、広い圏域の人と人との交流を促進するとともに、異なる交通モードを効果的に結節し、世界につながる関西のゲートウェイとしてふさわしい都市の空間を兼ね備え、災害にも強い、日本の成長を支える国際的な都市拠点を形成し、広域交通ターミナルを核とした世界有数のまちづくりを実現	関西・日本・世界の広い圏域とつながる特性を活かして、人が集う拠点として、新しいビジネス・文化の創造、新技術の実証・導入、新たなライフスタイルの構築のために、駅を中心に交流促進機能、交通結節機能、都市空間機能の向上を図るとともに、都市開発事業と公共空間の活用を連携させ、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を図る ○ グローバルな業務機能、高度で多様な業務機能、学術・研究機能、情報発信機能、スタートアップ支援機能、ハイクラスの宿泊機能、観光機能、文化・芸術機能、エンターテインメント機能、MICE 関連機能、これらをサポートする商業・居住機能などの導入を図り、質の高い機能が集積した複合市街地を形成 ○ 駅とまちを繋ぐ人の通行・滞留機能、多様な人が集う交流機能、緑、光、水などを取り入れたうるおいのある空間機能及び独自性の高い商業・文化などの機能の充実による魅力的な低層部の形成	○ 鉄道と道路とまちをつなぐ新大阪駅と駅南側の交通結節施設などにおいて、平常時・災害時に対応する歩行者の空間、自動車等交通（高速バス、端末交通）の空間、サービス空間の機能の向上 ○ ペDESTリアンデッキやグラウンドレベルの歩道などを組み合わせることで、新大阪駅とまちを繋ぐ重層的な放射状の歩行者ネットワークを強化し、都市開発事業と公共空間の活用を連携させ、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を図る ○ 鉄道事業者が中心となって検討を進める新大阪連絡線構想（新駅を含む）などにより、新大阪と十三を繋げ、大阪駅周辺・京阪神方面・関西国際空港方面との利便性の向上を図る	○ 都市開発の促進、MaaS や次世代モビリティなど新しい技術の実証・実装の促進、エリアの価値の持続的な維持・向上などのエリアマネジメントの推進 ○ 3D 都市モデルなどのデジタル空間などを活用した都市づくりの推進 ○ 災害時の帰宅困難者対策等の防災対策の推進

		○ 建物全体及び低層部の空間の意匠や形態の工夫などによる質の高い都市景観の形成 ○ 駅の交通結節機能を補完するとともにエリア全体の回遊などを促進し、交通利便性向上に資する歩行者、自転車、自動車などの交通関連機能の向上 ○ 地震・水害時などにおける人の退避機能や雨水の貯留機能などの都市防災機能の向上 ○ 都市の環境負荷低減に資するエネルギー、緑などの都市環境機能の向上		
--	--	---	--	--

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
東京都心・臨海地域	〔都市再生緊急整備地域〕 日本の経済を牽引する高次の中枢業務機能のほか、商業、居住、文化、交流など多様な都市機能の集積と、主要幹線道路等の整備による都市基盤の強化を通じて、国際的なビジネス機能等を備えた拠点としてふさわしい景観にも配慮した賑わいと魅力のある都市空間を形成 (大手町、丸の内、有楽町) 東京都心において、我が国の顔として、歴史と文化を活かしたうまいと風格ある街並みを形成しつつ、高次の業務機能とそれを支える高度な支援機能を備えた金融をはじめとする国際的な中枢業務・交流拠点を形成この際、併せて、商業・文化・交流などの多様な機能を導入することにより、にぎわいと回遊性のある都市空間を形成	○国際金融をはじめとする中枢業務拠点にふさわしい高次の業務機能とこれを支える商業・文化機能等多様な機能の導入 ・高次の業務機能と、高度な専門性を有する業務支援機能の強化 ・業務機能を支え、アメニティを高める商業・文化・交流・宿泊機能等を強化 ・業務機能を支える人材育成・就業者支援・情報通信拠点機能を強化 ○国際化に対応した、教育・医療・情報提供・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導 ○成田・羽田空港と直結する交通拠点機能の強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実	○東京駅周辺において、東京駅舎を保存・復元するとともに、駅前広場や街路等を整備することにより、東京の顔にふさわしい景観を確保するとともに、交通利便性を向上 ・丸の内側については、駅前広場の整備や行幸通りの景観整備により、我が国の顔となる空間を形成 ・丸の内仲通りの機能を延伸し、にぎわいの創出と回遊性を確保 ・駅周辺の回遊性を高めるため地上・地下の歩行者ネットワークを充実・強化 ・八重洲側については、駅前広場を再整備 ○大都市における環境の再生のモデルとして、日本橋川沿いのエリアにおいて、まちづくりの機会を捉え、水辺のにぎわい創出などにより、日本橋川の再生を促進 ○周辺のまちづくりと連携し、東京高速道路（KK線）上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生 ○その他、以下を実施 ・建築物の更新により整備される敷地内空地や地下歩道などのネットワーク化等により安全・快適な歩行者空間を確保 ・大手町、丸の内、有楽町地域の駐車場について、公共と民間、民間相互の連携などに	○丸の内の仲通りに面した地域などにおいては、通りに面した壁面の位置や高さを整えるなどにより、風格ある街並みの形成に資する都市開発事業を促進 ○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進 ○東京駅などの未利用の容積を活用しつつ、用途の配置や容積の配分を適正に行うことにより、メリハリのある高度利用を実現 ○日本橋川の沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化や排熱抑制などヒートアイランド対策を誘導 ○地区継続計画の作成や防災施設整備等の推進 ○地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進

			より、効率的なネットワーク化を地域において検討 ・公共的空地の確保や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実 ・エネルギーネットワークを始め、供給処理施設の機能更新及び強化により、発災時にも自立した機能を確保	○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導
（日本橋、八重洲、京橋、銀座、兜町、茅場町、八丁堀） 東京都心や周辺部において、老朽建築物の機能更新や土地の集約化等により、歴史と文化を生かしたうるおいと風格ある街並みを形成しつつ、国際的な業務・金融・商業機能や高度な業務支援機能・生活支援機能等が適切に調和した魅力ある複合機能集積地を形成特に、中央通りを中心とした地域においては、魅力とにぎわいにあふれた国際的な商業・観光拠点を形成	○業務・金融・商業機能等を高度化と、これらを支える多様な機能の導入と居住・宿泊機能等を強化 ・建築物の低層階に商業・文化・交流機能等の導入により商業機能を強化 ・高度な専門性を有する業務支援機能の強化 ・業務・商業機能との調和に配慮した居住・宿泊機能等の強化を促進 ○国際化に対応した、教育・医療・情報提供・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実	○東京駅周辺において、東京駅舎を保存・復元するとともに、駅前広場や街路等を整備することにより、東京の顔にふさわしい景観を確保するとともに、交通利便性を向上 ・駅周辺の回遊性を高めるため地上・地下の歩行者ネットワークを充実・強化 ○東京駅前地域の再開発と連携したバスターミナルの整備などによる交通結節機能の強化 ○都市再生と連携した首都高速都心環状線（日本橋区間・築地川区間）の大規模更新を推進 ・大都市における環境の再生のモデルとして、日本橋周辺のまちづくりと連携し、首	○八重洲の外堀通り等に面した地域においては、交通基盤の強化の連携などにより、東京の玄関口に相応しい都市開発事業を促進 ○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進 ○銀座の中央通り等に面した地域などにおいては、通りに面した壁面の位置や高さを整えるなどにより、歩行者空間の充実と、魅力ある商業空間の形成を図る都市開発事業を促進	

				都高速道路の地下化や水辺のにぎわい創出などにより、日本橋川の再生を促進 ○日本橋周辺の首都高速道路の地下化と渋滞緩和のために必要となる都心環状線新京橋連絡路（地下）の整備 ○周辺のまちづくりと連携し、東京高速道路（KK線）上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生 ・東京高速道路（KK線）と接続する首都高速道路の施設の有効活用策について検討 ○東京都心部と臨海地域とのアクセス機能等の強化など広域的な交通利便性を向上するための公共交通を検討 ・BRTネットワークの拡大を検討 ・都心部・臨海地域地下鉄構想の具体化を検討 ○水上交通ネットワークの形成の促進 ○その他、以下を実施 ・建築物の更新により整備される敷地内空地や地下歩道などのネットワーク化等により安全・快適な歩行者空間を確保 ・銀座地域や東京駅前地域において、駐車場や荷さばき場の集約的な整備を地域において検討 ・公共的空地の確保や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実 ・市街地の更新に当たり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、特に八丁堀駅周辺では、必要となる公共公益施設を再編及び充実	○歴史的建造物の機能更新等にあたっては、これを生かした都市開発事業を促進 ○首都高速都心環状線（日本橋区間・築地川区間）の大規模更新の機会を捉え、都市再生と連携し魅力的な都市空間の形成を促進 ・日本橋川の沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出 ○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実
--	--	--	--	---	---

	(日比谷) 東京都心において、文化・交流機能の集積や隣接する日比谷公園の環境を活かし、多様な機能が複合した風格とにぎわいのある都心拠点を形成 併せて、周辺エリアとつながる緑豊かな回遊拠点を形成	○文化・芸術機能や迎賓・交流機能の歴史と集積を活かした、文化・交流機能の強化 ○まちのにぎわいを創出する、飲食・物販機能やイベント機能等の導入 ○中枢業務機能、国際金融機能、国際カンファレンス機能、情報通信拠点機能、高次なインフラ機能などの更新・強化 ○隣接する日比谷公園を活かした緑やうるおいの充実 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化	○日比谷地域において、回遊性の向上を図る歩行者ネットワークの強化や地域の顔となる魅力的な公園、ＪＲや地下鉄の駅と隣接した広場空間の整備を検討	など、新しい日常に向けた対策を誘導 ○隣接する日比谷公園や周辺エリアとの回遊性の向上、緑豊かな広場等の整備、多様な機能の導入等による魅力ある都市空間の形成に資する都市開発事業を促進 ○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化や排熱抑制などヒートアイランド対策を誘導 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導 ○隣接する日比谷公園と連携した地区継続計画の作成や防災施設整備等の推進 ○地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発
--	---	---	---	---

				事業を促進
	(環状二号線新橋周辺・赤坂・六本木) 中央官庁街に近接し、大使館等が数多く立地する地域において、環状2号線の整備とその沿道土地利用の促進を図るとともに、国際金融・業務・商業・文化・交流機能や生活・業務支援機能など多様な機能を備えたにぎわいにあふれた国際性豊かな交流ゾーンを形成 この際、緑豊かな地域特性を生かしたうまいのある都市空間を形成 また、浜松町駅より海側の地域においては、地域の資源である浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園や海を意識しながら景観や環境にも配慮しつつ、内外の企業が魅力を感じられる国際競争力の高いビジネス拠点を形成	○良好な住環境を備えた居住機能のほか、国際金融をはじめとする業務・商業・文化・交流・宿泊等の多様な機能の誘導及び高度な専門性を有する業務支援機能の強化 ○国際化に対応した、教育・医療・情報提供・MICE・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導 ○新橋駅周辺の交通結節機能の強化 ○国際化に対応した浜松町駅周辺の交通結節機能の強化及びバリアフリーネットワークの強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化	○環状2号線、環状3号線等の整備による広域的な交通利便性を向上 ○国際化に対応した浜松町駅周辺開発にあわせ、東京モノレール浜松町駅の改良やバスターミナル再整備などによる交通結節機能の強化及び歩行者ネットワークの強化 ○環状2号線周辺においては、道路と沿道が一体となって風の道となる空間を確保し、快適で魅力的な街並みを形成 ○道路や敷地内通路等の連携による地上・地下の重層的な歩行者ネットワーク等の充実や、駅や周辺の開発に併せた交通結節機能の強化 ○周辺のまちづくりと連携し、東京高速道路(KK線)上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生 ・東京高速道路(KK線)と接続する首都高速道路の施設の有効活用策について検討 ○その他、以下を実施 ・都市開発事業に関連した道路整備により、地域内道路網を強化 ・環状2号線周辺地区において、駐車施設の集約的な整備を地域において検討 ・虎ノ門バスターミナル及び新橋駅を起点とした、BRTの整備 ・まとまった公共的空地の確保・緑化や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実	○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導 ○環状3号線と補助4号線には含まれた区域(補助2号線の西側)及び赤坂地区・六本木地区における良好な住環境を備えた区域においては、周辺市街地との環境に十分調和するよう配慮した都市開発事業を促進 ○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進 ○環状2号線周辺の土地利用の更新にあわせ、細分化した街区の再編による大街区化を誘導し、緑豊かなオープンスペースや機能的な道路空間を創出 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○六本木地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進 また、学校、国際交流施設等の地区独自の文化性、国際性に富んだ資源を活用 ○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出 ○浜松町駅周辺においては、竹芝地区をはじめ、エリアマネジメントとの連携も図りつつ、防災性の向上やエネルギー対策を推進 ○また、浜松町駅から竹芝ふ頭に至る歩行者動線の強化や緑の創出・ネットワークの充

				実を図り、地区内の回遊性の向上や小笠原及び伊豆七島への玄関口としてふさわしい景観を形成 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導 ○計画的なまちづくりに配慮しつつ、暫定的な土地利用への柔軟な対応の促進 ○地域の市街地像を共有化し、一体的かつ総合的に都市開発事業を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○豊洲埠頭地区において、まちづくりと一体となったエネルギーの面的利用の推進や
	(晴海、豊洲、有明北、有明南、台場、青海、東雲) 都心に近接し、陸・海・空の卓越した交通条件にある東京臨海部において、物流機能の転出等に伴い発生した低未利用地の大規模な土地利用転換等により、職・住・学・遊の多様な魅力を備え国際的に情報発信を行う先導的な拠点を形成 この際、水辺の環境をいかしてアミューズメント・文化・商業などの機能を導入し、都市観光にも資するバランスのとれた魅力的な複合市街地を形成	○職・住・学・遊の多様な機能の複合市街地の形成 ○この際、新しい産業の育成など先導的な機能を導入 ・大学や研究所などと連携した次世代型の産業・業務・情報機能等の導入 ・港湾機能や優れた空港アクセス機能を活かした首都圏の物流・交通拠点機能の強化 ・魅力とにぎわいを創出するアミューズメント、文化、商業、交流機能の導入 ・都心との近接性や水辺環境を活かした居住	○東京都心部へのアクセス機能等の強化など広域的な交通利便性を向上するための幹線道路や公共交通を整備 (幹線道路) ・環状2号線の整備 ・高速晴海線の整備 ・国道357号(東京港トンネル)の整備 等(公共交通機関) ・地下鉄8号線の延伸計画の深度化 ・BRTの整備 ○さらに、中長期的には、民間の開発状況や	

	(佃、月島、勝どき、豊海町、湊、入船、新富、明石町、築地) 個性を生かしたまちづくりと計画的な大規模開発による機能更新により、都心を支える居住機能を強化した魅力的な複合市街地を	機能の導入 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 ○国際的に情報発信を行う先導的な拠点として、M I C E機能の更なる強化により、ビジネスや観光等の都市機能を充実 ○良好な居住機能を強化しつつ、あわせて、業務・商業・文化・交流機能の導入による複合市街地を形成	広域的な交通ネットワークの形成等を勘案しつつ、需要に応じた交通基盤の整備について検討 ・都心部・臨海地域地下鉄構想の具体化を検討 ○水上交通ネットワークの形成の促進 ○豊洲新市場の整備 ○防災機能の強化 ・外郭堤防、水門の耐震化など、当該地域における防災施設の整備促進 ○大規模土地利用転換にあたり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、居住機能の配置に伴い必要となる教育・福祉等の生活関連の公共公益施設を整備 ○その他、以下を実施 ・水際の遊歩道や歩道状空地等の確保による親水性のある歩行者ネットワークを形成 ・公共的空地の確保や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ○東京都心部へのアクセス機能等の強化など広域的な交通利便性を向上するための幹線道路や公共交通を整備	再生エネルギー・未利用エネルギーの活用など、最先端技術の導入による低炭素社会を誘導 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導 ○M I C E機能の拡充による国際的なビジネス交流拠点の形成や、アフターコンベンション機能の更なる拡充に資する都市開発事業を促進 ○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導 ○密集市街地においては、従前居住者の居住の確保や周辺市街地の都市環境との調和などに十分配慮する都市開発事業を促進
--	--	---	--	--

	形成 また、築地市場跡地においては、浜離宮庭園や銀座、隅田川、食文化など、魅力的な資源を有する地域のポテンシャルを生かし、水と緑に囲まれ、世界中から多様な人々を出迎え、交流により、新しい文化を創造・発信する拠点を形成	・都心との近接性や水辺環境を活かした居住機能の強化 ・魅力とにぎわいを創出する業務・商業・文化・交流機能等の導入による複合的な都市機能を強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化	(幹線道路) ・環状2号線の整備 ・日本橋周辺の首都高速道路の地下化と渋滞緩和のために必要となる都心環状線新京橋連絡路(地下)の整備 ・高速晴海線の整備 ・公共交通機関) ・BRTの整備 ○築地市場跡地においては、さまざまな交通手段が円滑・快適に結節する広域的な交通結節点を形成 ○さらに、中長期的には、民間の開発状況や広域的な交通ネットワークの形成等を勘案しつつ、需要に応じた交通基盤の整備について検討 ・都心部・臨海地域地下鉄構想の具体化を検討 ○水上交通ネットワークの形成の促進 ○首都高速都心環状線(築地川区間)の大規模更新の推進及び道路上部空間の活用など周辺まちづくりと連携した更新計画の検討 ○防災機能の強化 ・外郭堤防、水門の耐震化、隅田川のスーパー堤防の整備など、当該地域における防災施設の整備促進 ○大規模土地利用転換にあたり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、居住機能の配置に伴い必要となる教育・福祉等の生活関連の公共公益施設を整備 ○その他、以下を実施 ・水際の遊歩道や歩道状空地等の確保による親水性のある歩行者ネットワークを形成 ・公共的空地の確保や保水性舗装などの実	○月島地区などにおいては、良好な街並みの形成、防災性の向上、住・商・工が調和した魅力ある市街地の形成に資する都市開発事業を促進 ○首都高速都心環状線(築地川区間)の大規模更新の機会を捉え、周辺まちづくりと連携し道路上部空間の活用など魅力的な都市空間の形成を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○築地市場跡地においては、周辺地域とのつながりに配慮するとともに、民間の活力や創意工夫を最大限活用しながら、段階的な都市開発を推進 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導 ○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出
--	--	--	--	---

	〔特定都市再生緊急整備地域〕 日本経済の中心地である都心から臨海部の一体的な地域において、本社機能の高度な集積や国内外へのアクセス機能、国際色豊かな地域特性を生かし、国際競争力向上に資する先進的なビジネス支援機能の導入促進、外国人が住みやすい居住環境の充実などを一体的に推進		施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与	○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導
--	---	--	-----------------------------	---

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
池袋駅周辺地域	〔都市再生緊急整備地域〕 ○都市計画道路の整備や駅施設及び周辺市街地の再編を契機に、駅前広場、東西連絡通路の整備により、回遊性・利便性の高い歩行者中心のまちに都市構造を転換するとともに、商業・業務・芸術・文化・交流・情報発信機能等の集積する拠点を形成 ○駅周辺においては、老朽建築物や細分化した敷地の統合など、街区再編の推進と併せて、歩行者ネットワークや緑の創出を図るとともに、造幣局跡地を活用して、防災公園の整備と併せた連鎖的な開発により、木造密集市街地の改善を図るなど、駅周辺の防災性の向上と連動して、地域全体の防災対応力を強化 〔特定都市再生緊急整備地域〕 池袋駅及び周辺市街地の都市基盤の再編と併せて、文化・芸術等の育成・創造・発信・交流等の機能の充実・強化を図るとともに、魅力ある商業、業務機能等を集積し、国際アート・カルチャー都市を形成	○駅及び周辺市街地の再編に併せて、バスターミナルや駐車場等の公共施設を整備するとともに、駅前広場や歩行空間の拡充により、ユニバーサルデザインに配慮した駅周辺の交通結節機能の強化を推進 ○既存の劇場等の文化施設や道路・公園等の公共空間とも連携し、芸術・文化の情報発信・育成・交流・産業支援機能、にぎわいを強化する商業機能を積極的に充実・強化 ○国内外からの来街者の多様な活動・交流を支える観光支援・宿泊機能等の充実・強化 ○駅周辺では、老朽建築物や細分化した敷地の統合などの街区再編の推進により業務・商業機能の更新を図るとともに、防災公園整備と併せた木造密集地域の改善を図る連鎖的な開発の実施や既存ストックの活用等により、多様で持続的な地域活動・コミュニティの形成を支える居住・生活支援機能の強化 ○造幣局跡地において、文化・交流機能（教育・研究）の整備促進	○都市計画道路（環状5の1号線・補助81号線等）の整備を契機に、駅前広場の改良等により、駅周辺の自動車交通の転換を図り、安全・安心の歩行者空間を創出 ○駅施設や周辺市街地の再編に併せて、地域の回遊性、乗換利便性、防災性の向上を図る歩行者ネットワークの形成を促進 ・駅の東西を連絡する地下通路の拡幅・整序 ・地下通路と地上部との連続性・一体性の確保 ・駅と周辺市街地との回遊性の向上と地域の防災力を高める東西連絡通路等の整備 ・建築空間等を活用した上下移動が容易な動線の確保 ○都市開発事業と併せて、駅前広場を再編し、バスターミナル・駐車・駐輪・荷捌場施設などの整備を促進 ○乗換利便性の向上や分かりやすい動線の確保を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮した、安全で快適なターミナル機能を強化	○池袋駅中心地区においては、街の玄関口にふさわしい、個性ある美しい都市空間の形成を促進 ○木造密集地域においては、従前の居住機能の確保及び周辺市街地の都市環境や街並みとの調和、建物の形態・色彩など、良好な都市景観の形成等に十分配慮し、都市開発事業や既存ストックを活用したリノベーションを促進 ○駅周辺においては、まちづくりの取組みと防犯対策の連携・協働により、安全・安心で魅力ある繁華街の再生を促進 ○公民連携によるエリアマネジメントにより、公的空間の管理・運営、まちのにぎわいや魅力を発信する取組を推進 ○都市開発事業において、敷地内・屋上・壁面緑化等により、ヒートアイランド対策を誘導 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により、地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、未利用エネルギーの活用、自立・分散型かつ高効率なエネルギーシステムの導入を誘導

		○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実	○地域に点在する文化・芸術資源をいかし、情報発信や国内外からの来街者が楽しみ、地域の人々と交流することができるにぎわいのある公園・広場等の整備を促進 ○造幣局跡地において、地域全体の防災力強化のため防災公園の整備を推進 ○公共的空地や道路沿道の緑化、遮熱性舗装などの実施により、ヒートアイランド現象の緩和を推進 ○道路、公園、広場を沿道建物等と一体的に再生・利活用し、多様な人々が集い、交流する「居心地が良く歩きたくなる」都市空間の整備を推進	○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○大規模災害発生時における駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導
--	--	---	---	---

地域整備方針

(川崎市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
浜川崎駅周辺地域	〔都市再生緊急整備地域〕 重厚長大産業をはじめとする広域的な工場地帯である京浜臨海部の中ほどに位置する浜川崎駅周辺地域において、工場跡地等の土地利用転換により、革新的な素材等を生み出す研究開発機能の集積により、社会課題を解決する新産業拠点を形成	(南渡田) ○ 革新的な素材・製品を生み出す研究開発機能のほか、臨海部全体の競争力強化を先導する様々な産業支援機能を導入 ○ 研究人材の集積やオープンイノベーションの創出に資する質の高い賑わい機能、生活支援機能、憩い・交流機能等を導入 ○ 交通アクセス向上のための交通機能の強化 (小田栄) ○ 南渡田地区の研究開発拠点に隣接した、良好な居住機能を中心とした複合市街地の整備	○ 都市計画道路川崎駅扇町線の整備 ○ 都市開発事業に伴う土地利用転換にあわせて、運河沿いの防潮機能の検討 ○ 建築物の耐震性向上、災害に備えたライフライン・通信網等の強化 ○ 都市開発の状況や広域的な交通ネットワークの形成等を勘案し、臨海部幹線道路をはじめとして、需要に応じた交通基盤の整備について検討 ○ 憩いやうるおいを確保する広場、緑地等の整備や内奥運河を軸とした緑のネットワークの形成について検討 ○ 都市開発の状況や広域的な交通ネットワークの形成等を勘案し、需要に応じた交通基盤の整備について検討 ○ 憩いやうるおいを確保する広場、緑地等の整備 ○ 災害時の一時滞留、帰宅困難者の一時待機が可能な空間利用について検討	

地域整備方針

(京都市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
京都駅周辺地域	〔都市再生緊急整備地域〕 ○京都都市圏の中核を担う京都駅とその周辺地域において、都市活力をけん引するオフィスビルや商業施設などの都市機能の高度集積を進める ○市立芸術大学移転や市中央卸売市場の再整備、梅小路京都西駅の開業を契機として、クリエイティブなまちづくりの機運が高まり、アートやデザイン、ものづくり、伝統・先端産業などが融合した様々な取組・活動が展開されることを目指す ○災害に強く観光客を含む様々な人々が交流できる広域かつ多機能な複合拠点を形成	○京都駅と梅小路京都西駅の交通便利性を活かし、情報化に対応した業務機能、観光客等広域的な集客機能を持つ商業・観光・文化・交流機能等多様な都市機能を集積 ○京都市中央卸売市場第一市場整備に伴い生み出される「有効活用地」の活用 ○五条通沿道への新産業の創出につながる産業クラスターの形成や新たな商業機能の誘致 ○大規模災害時においても、各種都市機能への影響を出来る限り軽減し、滞在者の安全を確保するための防災性の向上 ○効果的な土地・空間利用によるゆとりあるオープンスペースを活かし、賑わい機能の創出や防災機能を強化	○バス・タクシー乗降場の機能充実をはじめとする交通結節機能の強化や安全性にも配慮した歩行者のためのゆとりある空間創出 ○災害時における、京都駅ビルを含むターミナル周辺の人々の流動を踏まえた、地域内の公共施設の機能の確保及び帰宅困難者を含む滞在者に対する避難場所・物資・情報の提供のための施設確保、より安全な動線の確保 ○公共施設整備や都市開発事業で生み出されたオープンスペースを活かした魅力的な空間の確保	○京都駅から世界遺産である東寺の景観を阻害せず、東寺や京都駅ビルの高さや調和する、都市の歴史的景観特性に配慮した都市開発事業の推進 ○歩行者ネットワークの充実等、駅を軸に人と公共交通優先のまちづくりの推進 ○エリアマネジメントによる地域の活性化の取組 ○都市開発事業の契機等をとらえ、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間等を確保するための支援・誘導の実施 ○都市開発事業において、敷地内や屋上の緑化、建築物等の省エネルギー化や木質化、災害対応も想定した効率的で安定的なエネルギーシステムの導入等による脱炭素化を推進 ○官民連携による大規模災害を想定した訓練の実施 ○脱炭素型の都市の実現に向け、快適で効率的な移動の創出を図るため、IoTやAI、自動運転、Maasの導入の推進

地域整備方針

(北九州市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
小倉駅周辺地域	〔都市再生緊急整備地域〕 北部九州圏の拠点として歴史的に発展してきた小倉駅周辺において、既存の都市基盤を活用しつつ、土地の集約化や建物の更新等により、北九州市の都心にふさわしい、環境・景観・防災面に配慮した多様な機能を有する都市拠点を形成	○ 都心にふさわしい業務機能の集積や、多様な働き方に対応した快適な環境の充実 ○ 広域商業拠点の形成と文化交流機能の誘導 ○ 居住機能の導入や医療・社会福祉施設、子育て支援施設等の充実によりまちなか居住を推進	○ 小倉駅周辺の交通の円滑化と快適な歩行者空間の確保や、回遊性を高めるための歩行者ネットワークの形成を図る ○ 低未利用地活用、建物更新に併せた歩行空間や広場の整備により、居心地が良く歩いて楽しいストリート空間を創出 ○ 北九州市のシンボルである紫川の環境整備による、市街地と一体となったうまいと魅力ある都市空間を形成 ○ 小倉駅新幹線口のまちなかスタジアムおよび周辺の公共施設整備による賑わいの創出と小倉駅南北の賑わい連携を推進	○ 紫川において、水辺環境との調和と親水性の確保に配慮した都市開発事業を促進 ○ 公共施設整備や都市開発事業を契機とした、一時滞留可能な空間等の確保や備蓄倉庫設置等の誘導や支援の実施 ○ 幹線道路沿いの民間ビルの建て替えを促進 ○ リノベーションの手法を活用した都心の遊休資産の有効利用や既存ストックの機能向上